



ヘルプ

TRIMBLE® ACCESS™
ソフトウェア

SERVICES

バージョン 2014.20
改訂版 A
2014 年 10 月



Trimble Access Service の紹介	3
はじめに	3
他のアプリケーションと交信する	4
概要	4
Trimble Access Service にアクセスする	7
Trimble Connected Community	9
Trimble Access Services と Trimble Connected Community	9
Trimble Connected Community Organization の管理	12
Trimble Connected Community Organization の使用	17
Trimble Connected Community の最新機能	20
AccessSync	25
AccessSync 概要	25
現場からオフィスへファイルの転送	30
オフィスから現場へファイルを転送する	34
ファイル変換	39
ファイル変換の概要	39
自動ファイル変換	39
手動ファイル変換	41
Registered Devices (デバイス登録)	42
Registered Devices (デバイス登録)	42
GNSS Forecast	44
GNSS Forecast	44

Trimble Access Service の紹介

始めに

Trimble Access Services ソフトウェア バージョン 2.60 のヘルプによろこそ。

このヘルプシステムは、Trimble Access Services ソフトウェアの能力と機能すべてを効果的に使用するのに必要とされる情報を簡単に見つけることができるように設計されています。

このヘルプより詳しい情報やその更新に関しては、Trimble Access のリリースノートをご参照ください。または、トリンブル社のウェブサイト (www.trimble.com) をご覧いただくか、お近くのトリンブル業者にお問い合わせください。

このアプリケーションを他のアプリケーションと使用するには、[他のアプリケーションとの相互作用を参照してください](#)。

目次

Trimble Access Services の一部として利用できるコンポーネントの詳しい情報や利用できるサービスについて知りたい場合は、[Trimble Access Services 概要 \(Trimble Access Services overview\)](#) をご参照下さい。

現場にて、以下のサービスを Trimble Access メニューから起動することができます：

- [AccessSync](#)
 - [現場からオフィスへファイルの転送](#)
 - [オフィスから現場へファイルの転送](#)
- [GNSS 予測 \(GNSS Forecast\)](#)

オフィスでは、以下の Trimble Access Services が利用できます：

- [Trimble Connected Community](#)
 - [管理者用](#)
 - [ユーザ用](#)
- [ファイル変換](#)
 - [AccessSync を使用した自動ファイル変換](#)
 - [手動ファイル変換](#)
- [デバイス登録 \(Registered Devices\)](#)

法定通知

© 2009 – 2014, Trimble Navigation Limited. 著作権所有。全ての商標および法律情報については [Trimble Access ヘルプ](#) をご参照ください。

他のアプリケーションと交信する

一度に一つ以上のアプリケーションを実行することが可能で、アプリケーション間の切替えも簡単です。例えば、「道路」、「トンネル」、「鉱山」と「一般測量」の間で機能を切り替えることができます。

一度に一つ以上のアプリケーションを実行するには、画面の左上隅にある Trimble ボタン、または Trimble アイコンを使用して、Trimble Access メニューを開き、そこから他のアプリケーションを実行します。

アプリケーション間を切替えるには：

- タスクバーにあるTrimbleボタンをタップし、Trimble Access メニューなどの使用可能なアプリケーションのメニューや現在実行中のサービスにアクセスします。切り替えたいアプリケーションまたはサービスを選択します。
- TSC2/TSC3 コントローラで Trimble ボタンを押すと、Trimble Access メニューなどの使用可能なアプリケーションのメニューや現在実行中のサービスにアクセスします。切り替えたいアプリケーションまたはサービスを選択します。
- Trimble GeoXR コントローラで、Trimble ボタンをタップすると利用できるアプリケーションのメニューや Trimble Access メニューを含む実行中のサービス、Windows の「スタートメニュー」などにアクセスすることができます。またカメラボタンを 2 秒間押し、切り替えたいアプリケーションやサービスを選択することもできます。
- 「切替先」をタップして、リストにある必要な機能を選択します。もし「切替先」ボタンが画面上にない場合は、CTRL W を押して、「切替先」ポップアップ・リストを開きます。
- CTRL TAB を押します。現在の機能切替先リストをスクロールするショートカットキーです。
- 「お気に入り」または CTRL A をタップして、予め設定してあるお気に入りを選択します。
- TSC2/TSC3 コントローラでは、「左アプリ」ボタンと「右アプリ」ボタンに実行したい機能を設定します。この方法によりアプリケーションが実行されていない場合でも、そのアプリケーションを開きます。

より詳しい情報は [Trimble Access ボタン](#) をご参照ください。

ヒント - この機能を使って現在使用しているアプリケーションのメインメニューに戻ります。例えば Trimble Access 道路で「定義」オプションを実行中に、「マップ」を表示したい場合、Trimble ボタン をタップしてドロップダウンリストから Trimble Access 道路を選択します。

概要

Trimble Access Services には、Trimble Connected Community や測量プロジェクト・機器のセットアップツールや管理ツールといった測量ワークフローに特化したサービスが組み込まれています。Trimble AccessService には 3 つの機能があります：

利用できるサービス	サービスの使用用途	含まれるサービス
無料で利用できるツール	- Trimble Access のタスク全般を支援します。	- 手動ファイル変換 - ローカル Trimble Access Version を作成

<p>ベーシック Trimble Access Services Trimble Access Maintenance 契約すると利用可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ユーザやプロジェクトを管理するセットアップを簡略化し組織の管理を支援します。 - 現場とオフィス間でファイルを転送します。 	<p>無料で利用できるツールの他に:</p> <ul style="list-style-type: none"> - ユーザ管理ツール - サイト管理ツール - AccessSync
<p>Trimble Connected Community 用のアドバンス Trimble Access Services アドバンス Trimble Access Services を購入すると利用可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> - ファイルスペース、フォーラム、wiki、ブログ、Visual Organizer などのツールを介して Trimble Connected Community のフル機能 にアクセスし、共同作業やコミュニケーションを行います。共同作業とコミュニケーションツールは、全ての Trimble Connected Community ユーザが利用できる標準的なギズモで使って提供されています。詳しい情報は、Trimble Connected Community の最新機能 (Advanced Features of the Trimble Connected Community) をご参照下さい。 - デバイス登録 (Registered Devices) サービスでコントローラを管理します。 - 所属している組織で、アクセス許可やデータセットアップなどより詳細なコントロールを行います。 	<p>ベーシックサービスに加:</p> <ul style="list-style-type: none"> - デバイス登録 (Registered Devices) - GNSS 予測 (Forecast) - Trimble Connected Community 全機能へアクセス

メモ

- AccessSync アプリケーションを起動するには、全てのコントローラで AccessSync ライセンスが有効となっていることが必要です。これは、期限が切れていないメンテナンス契約、または AccessSync アプリケーションを使用する各コントローラに購入された TAS-2 が必要となります。
- 各オプションは、Trimble Connected Community を何らかの用途で使用します。事業主がベーシックとアドバンスの Trimble AccessService にアクセスするためには事業主用の Trimble Connected Community 団体を作成しなければなりません。
- Trimble Connected Community 団体を購入しているが Trimble AccessService を使用できない場合、無料サービスのみアクセスできます。

Trimble Access Services はサービス内容によっていくつかの場所からアクセスすることができます。利用可能なサービスとアクセス方法は下表をご参照ください:

サービス	説明	場所	アクセス方法...	Trimble Access Services ベーシック / アドバンス
Trimble Access サイト	所属組織内でプロジェクトの追加、編集、削除を行います。このウィザードは、Trimble AccessSync	オフィス (SiteManager のみアクセス可能)	<ul style="list-style-type: none"> - http://my.trimbleaccess.com の Trimble Connected Community、または - Trimble Business Center 内 	 *

	<p>サービスを利用するのに必要なプロジェクトサイトの作成、ユーザ許可のセットアップなどを自動的に行ないます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 所属組織内で誰がどのプロジェクトサイトにアクセスできるのかを管理します。 			
ユーザの管理	<ul style="list-style-type: none"> - 所属組織内で、ユーザの追加、編集、削除を行います。 - 所属組織内でユーザがアクセスできるプロジェクトサイトを管理します。 	<p>オフィス (SiteManager のみアクセス可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> - http://my.trimbleaccess.com の Trimble Connected Community または、 - Trimble Business Center 内 	⊙, *
AccessSync	<p>インターネットを使用した現場とオフィス間の Trimble Access ソフトウェアファイルの無線送受信を可能にするサービス。</p>	現場	AccessSync ソフトウェア	⊙, *
		オフィス - ファイルスペースギズモ内(現場との間でのファイル送受信)	- 各 Trimble Access プロジェクトサイトの Trimble Connected Community 内	⊙, *
		オフィス - AccessSync ウィザードによるファイル送信:(現場へのファイル送信用)	- 実際の Trimble Access プロジェクトサイトの Trimble Connected Community 内、または - Trimble Business Center 内	⊙, *
自動ファイル変換	<p>オフィスから現場へのファイルの転送時に、現場のコントローラのバージョンに合わせてファイルを自動変換。</p>	オフィス	<p>ファイルは AccessSync サービスを介してオフィスから現場へ送信されるため、これは Trimble がホストするサービスの背後で行なわれます。</p>	⊙, *
手動ファイル変換	<p>TCC のこのサービスを使用して古い Survey Controller ジョブファイルや General Survey ジョブファイルを最新のバージョンに変換し、ローカルに保存したり、TCC に直接保存して現場に転送したりします。</p>	オフィス	<ul style="list-style-type: none"> - http://my.trimbleaccess.com の Trimble Connected Community、または - Trimble Business Center 内 	✓ ⊙, *

アップグレード中のファイル変換	コントローラに保存されたファイルでサポートされているものは、Trimble Access Installation Manager でアップグレードする際に適切なバージョンに自動的に変換されます。	オフィス	- Trimble Access Installation Manager	✓ ⊙, *
GNSS Forecast	指定された場所における GNSS 測定の適切性を、衛星の可用性や電離層の状態にもとづいて予測する計画ツール。	現場	GNSS Forecast ソフトウェア	*
登録されたデバイス	団体にリンクしている全てのコントローラを一覧表示し、ハードウェアとソフトウェアを管理するために必要なライセンス情報とバージョン情報を提供します。	オフィス (SiteManager のみアクセス可能)	- http://my.trimbleaccess.com の Trimble Connected Community	⊙

記号の意味:

✓	無償で利用できます
⊙	Trimble Connected Community 用のベーシック Trimble Access Services に含まれます
*	Trimble Connected Community 用のアドバンス Trimble Access Services に含まれます

Trimble Access Service にアクセスする

オフィスで、Trimble AccessService は以下を介してアクセスすることができます:

- Trimble Connected Community (ウェブブラウザを使用)
- Trimble Business Center

TCC Explorer は、ユーザのローカルコンピュータにあるマイコンピュータまたはウィンドウズ エクスプローラを使って Trimble Connected Community に保存されているファイルにアクセスすることにも使用できます。

Trimble Connected Community を介してサービスへアクセス

Trimble Connected Community にアクセスするには、<http://my.trimbleaccess.com> にアクセスしてください。登録時に提供されたユーザ名、団体名、パスワードを使用してサインインします。

Trimble Connected Community は、Trimble がホストし、管理しています。以下のウェブブラウザを使用して簡単にアクセスすることができます:

- Internet Explorer バージョン 7.0 以降
- Mozilla Firefox バージョン 3.0 以降
- Safari バージョン 3.1.2 以降

Trimble Connected Community 団体をお持ちでない場合、またはサインインせずに Trimble Connected Community を介して提供される無償サービスのいずれかにすばやくアクセスする場合は、サインインするページ(<http://my.trimbleaccess.com>)にある Survey Tool(測量ツール)ボタンをクリックします。

Trimble Business Center を介してサービスにアクセスする

Trimble Business Center 内から Trimble AccessService にアクセスするためには:

Ribbon ユーザーインターフェースを使用します:

1. 「File(ファイル)」をクリックして、TCC をクリックします。Trimble Access Services オプションを選択します。
2. 利用可能な無料サービスを選択するには、左側の欄にある適当なボタンをクリックするか、タイトルバーにあるドロップダウンメニューから「サインイン」をクリックして、Trimble Connected Community 認証情報を入力すると他のサービスが有効になります。

ヒント – Trimble AccessService にアクセスするたびにサインインする手間を省くには、Trimble Business Center をセットアップして常に同じ認証情報を使用するようにします。これを行うには:

1. Trimble Business Center 内で、「ファイル」をクリックして、「オプション」をクリックします。「一般」フォルダで「外部サービス」を選択します。
2. ユーザ名、団体名、パスワードを入力します。

TCC Explore を使用してファイルにアクセス

TCC Explorer は、ユーザのローカルコンピュータにあるマイコンピュータやウィンドウズ エクスプローラで Trimble Connected Community にある団体ファイルとフォルダ構造を、Microsoft Windows XP、Vista、Windows 7 オペレーティングシステムで使用するためのプラグインです。TCC Explorer は、ユーザが Windows と同じ方法でファイルやフォルダを管理できるようになり、Trimble Connected Community でのファイルやフォルダのナビゲーションする操作性が大幅に向上されました。

TCC Explorer は、ローカルコンピュータにある選択されたフォルダと Trimble Connected Community で選択されたファイルスペース/フォルダの自動同期を可能にします。TCC Explorer は、最大 10 ペアのフォルダまで同期することができます。

TCC Explorer は、Trimble Access Installation Manager を使用してインストールすることができます。

Trimble Connected Community Explorer でフォルダを同期するよう設定するには:

1. ウィンドウズ エクスプローラで、データを同期するフォルダを選択します。

2. フォルダを右クリックして、TCC Explorer を選択して以下のいずれかを選択します：
 - 「双方向の同期:フォルダと TCC ファイルスペース」:このフォルダは、TCC に選択されているファイルスペースをミラーリングします。これは、TCC からローカルフォルダにファイルをコピーして、ローカルフォルダからもファイルをコピーして TCC をバックアップします。
 - 「一方向の同期:TCC からローカルのみ」: このオプションでは、TCC ファイルスペースへバックアップするためにローカルファイルをコピーしません。
3. ファイルスペース、またはファイルスペースにある同期したいフォルダを選択してください。
4. 「ファイルスペースへ同期(Sync to Filespace)」をクリックします。

Trimble Connected Community

Trimble Access Services と Trimble Connected Community

Trimble Connected Community はウェブベースのサービスで、オンラインのデータ保存場所を提供したり、各団体がインターネットを通じて素早く簡単に情報を共有できるようにする様々なツールを提供します。

Trimble Connected Community のトライアル用アクセスを使用している、またはアクセスを購入した事業者は、特有の団体を受け取ります。これによって、サインイン、オンラインデータ保存、団体内の他のユーザとデータの共有などができるようになります。

Trimble Access Services は、Trimble Connected Community をベースに実行されます。有料や無償を問わず、ほとんどのサービスは Trimble Connected Community を使用します。本章では、Trimble Connected Community を Trimble Access システムの一部としてどのように使用するのかを説明します：

- [Trimble Connected Community を介してサービスにアクセス](#)
- [機能のレベル](#)
- [Trimble AccessService の管理とユーザの役割](#)
- [新規 Trimble Connected Community 団体の作成](#)
- [Trimble Connecting Community Organization の管理](#)
 - サイトの管理
 - ユーザの管理
- [Trimble Connected Community 団体の使用](#)

更に詳しい情報は、[Trimble Connected Community の最新機能 \(Advanced Features of the Trimble Connected Community\)](#)、または Trimble Connected Community のヘルプファイルをご参照下さい。

以下の図は、団体のセットアップから AccessSync を使用してファイルを転送するまでを説明したクイックスタートガイドです。

Trimble Access Services スタートガイド

組織のセットアップからAccessSyncを使い始めるまで



ご所属の会社用のTCC組織はセットアップされていますか?

はい
いいえ

http://my.trimbleaccess.com から「今すぐ登録」をクリックします。必要な情報を入力しウィザードの手順に従ってご所属の組織をアクティベートします。

はい

http://my.trimbleaccess.comからサインインします

データを同期させるユーザアカウントとプロジェクトサイトはセットアップされましたか?



はい

現場監督者から提供された情報を使用してサインインします

いいえ

登録時に入力した情報を使用して「現場監督者」としてサインインし管理者ページを開きます

現場にいるユーザにファイルを送信しますか?

「ユーザ管理」 ツールを開き、データを同期させる各ユーザのアカウントを作成します

はい

「ファイルのアップロード」ウィザードを使用するか、または「<ユーザ名>To the Field」フォルダにファイルを保存します。サブフォルダを使用すると現場でダウンロードしやすくなります。

いいえ

現場のユーザから送られたファイルを開きたい

「ファイル管理」を使用して「<ユーザ名>From <シリアル番号>」フォルダに進みます

「現場管理」 ツールを開きデータを同期させるプロジェクトサイトを



機能のレベル

Trimble AccessService で利用できるの機能には 3 段階あります。(ライセンス購入が必要なものもあります):

- 無料サービス
- ベーシック Trimble Access Services
- アドバンス Trimble Access Services

各オプションは、Trimble Connected Community を何らかの用途で使用します。Trimble Connected Community 内で Trimble AccessService にアクセスして使用するには、Trimble Connected Community 団体を作成しなければなりません。

異なるオプションの更に詳しい情報は、[Trimble Access Services overview\(概要\)](#) をご参照下さい。

Trimble AccessService の管理とユーザの役割

ベーシックまたはアドバンス Trimble AccessService を使用するため、Trimble Connected Community にサインインする時に重要な 2 つの役割分担があります:

役割	タスク
Sitemanager(サイト管理者)	この役割は、団体を管理する役割を担います: - ユーザアカウントの管理 (ユーザの追加、編集、削除など) - プロジェクトサイトの管理 (プロジェクトサイトの追加、編集、削除など) - プロジェクトサイトのデータのアクセス制限 (AccessSync を介したアクセスを含む)
ユーザ	- 現場とオフィス間のデータの同期 - プロジェクトサイトのファイル管理

メモ

- Sitemanager(サイト管理者)は、プロジェクトサイトのファイル管理したり、AccessSync サービスを使用してファイルをサイトに転送することが **できません**。同じ人が管理者とユーザの両方のタスクを行わなければならない場合は、Sitemanager(サイト管理者)アカウントにユーザアカウントを追加作成することが推奨されます。
- Trimble Access Installation Manager にログインする必要はありませんので、Sitemanager(サイト管理者)以外のユーザも Trimble AccessService をコントローラにインストールすることができます(コントローラのライセンスが有効でなければなりません)。

新規 Trimble Connected Community 団体の作成

新規 Trimble Connected Community 団体を作成するには:

1. <http://my.trimbleaccess.com> へブラウザます。
2. 「Register Now(今すぐ登録する)」をクリックします。
3. 必要要項を入力し、「Next(次へ)」をクリックします。
 - AccessSync を起動できるライセンスのあるコントローラのシリアル番号を入力します。

- ご利用になっている Trimble 代理店の名称を入力します。入力すると Trimble 代理店に Trimble Access Service に申し込みしたことが通知されるので、必要な場合にサポートを提供します。この情報を開示したくない場合は、「Other(その他)」を選択します。
4. 所属している組織の詳細を入力します：
 - 正式社名
 - TCC Organization Shortname/ID (TCC 団体 短い名前/ID) は、作成した Organization にサインインする時に使用される固有名称です。
 5. Sitemanager (サイト管理者) 情報を入力します：
 - Trimble Connected Community organization のアクチベーションメールが送付されるメールアドレス (パスワードのリセット時にも使用)。
 - パスワード。パスワード作成には以下の制限があります：
 - 最低 6 文字を使用すること
 - 最低 1 文字は数字を使用すること
 - 最低 1 文字は句読点を使用すること
 6. 「Submit (提出)」をクリックします。登録したメールアドレスに返信メールが送られます。そのメールにあるリンクをクリックして、作成した団体を有効化します。有効化すると、作成した団体にサインインする詳細情報を記したメールが送られてきます。

メモ

- 新しい Trimble Connected Community 団体は誰でも作成することができます。
- Trimble Connected Community 事業主アカウントは、作成した団体に対して 1 つのみです。事業主が Trimble Connected Community 団体をすでに作成している場合は、重複を避けるために、Sitemanager (サイト管理者) に問い合わせ、新しいユーザアカウントを作成してもらいます。
- アドバンス Trimble AccessService を購入している場合のみ、団体内でデータの共有を行うことができます。

Trimble Connected Community Organization の管理

AccessSync サービスで Trimble Connected Community Organization を設定するには、まずユーザアカウントとサイトの管理方法を知る必要があります。

一般的には、Sitemanager (サイト管理者) ユーザのみが、団体を管理することができます。

メモ(アドバンス Trimble Access Services ユーザ) – アドバンス Trimble Access Services を購入している場合、Administrator (管理者) グループに属しているユーザとしてサインインしていれば、団体を管理することができます。Trimble Access Services Manage Users (ユーザ管理) と Manage Sites tool (サイト管理ツール) にアクセスするには、ユーザは AllSiteManagers (全ての現場管理者) グループのメンバーとなっていなければなりません。アドバンス Trimble Connected Community コントロールは AccessSync で使用する必要はありません。Manage Sites (サイトの管理) と Manage Users (ユーザの管理) サービスを使用して団体を管理することが推奨されます。

Trimble Access サイト

Trimble Connected Community サイトはフィールドで使用されるファイルなどのプロジェクト情報を Trimble Access ソフトウェア内で保存します。

AccessSync サービスを使用するには、Trimble Connected Community で AccessSync プロジェクトサイトを設定しなければなりません。AccessSync サービスを使用する時、このサイトにファイルが転送されます。

データの構造

プロジェクトサイトをセットアップし、通常作業にあたるプロジェクトの規模や数に適した形にすることができます。オプションは下記の通りです:

- **単独プロジェクトサイト:** プロジェクトまたはジョブ 1 つに対して 1 つの Trimble Connected Community サイトを使用

基本的にはこのオプションは長い期間規模の大きなプロジェクトにあたるユーザに適しています。プロジェクトに割り当てられ各ユーザは、プロジェクト内に自分のフォルダを持ち、そこにデータを保存します。

- **マルチプロジェクトサイト:** 複数の測量プロジェクトまたはジョブに対して 1 つの Trimble Connected Community サイトを使用

基本的にこのオプションは規模の小さいジョブを数多く行なうユーザに適しています。利点はすべてのフィールドデータが 1 つのサイトに転送されるということです。このマルチプロジェクトサイトに割り当てられた各ユーザはプロジェクト内に自分のフォルダを持ち、そこにデータを保存します。プロジェクトフォルダが General Survey アプリケーションで使用される場合、各プロジェクトフォルダはフィールドユーザごとに表示されるので、プロジェクトデータは各フォルダに振り分けられます。

- **ユーザ許可ベースのサイト:** 同じデータにアクセス許可のあるユーザグループにサイトを作成

ベーシック Trimble Access Services のユーザ許可は簡略化されています。ユーザにサイトへのアクセス許可があれば、他のユーザのデータであったとしても、同じ団体で同じサイトを使用している場合なら、そのサイトに保存されている他のデータにアクセスすることができます。これを行いたくない場合は、異なるサイトをセットアップし、ユーザアクセスを差別化して、そのサイト内の全てのデータにアクセスできる許可のあるユーザのみに許可を与えます。

ヒント

- 習得プロセスを簡単にするには、まず団体ごとに 1 つだけ Trimble Access プロジェクトサイトを持つことをお勧めします。1 つのサイトの下に複数のフォルダを設けて複数のプロジェクトを管理することができます。システムの使用を十分に経験してからマルチサイトの使用を試してみてください。
- マルチサイトを使用する際、「フィールドへ」フォルダ内に直接保存するのではなく、「フィールドへ」フォルダの下にフォルダを作成し、その中にファイルを保存してください。フィールドにいるユーザが AccessSync を使用している際、まとめて正しいファイルを選択して同期しやすくなります。

サイトの設定は、データの構築方法などに関らず同じです。

サイトの管理

「Manage Sites(サイトの管理)」は、Sitemanager(サイト管理者)が使用するサービスで以下を行います:

- 新規サイトを作成
- 団体内にある既存の全てのサイトの一覧表示
- サイトにアクセスできるユーザを管理
- サイトの削除

一般的には、Sitemanager(現場管理者)のみが「サイトの管理」にアクセスできます。

AccessSync と併用する新しい Trimble Access Project サイトを設定


新規サイトを設定し、AccessSync サービスでコンポーネントを送信するのに必要な許可を持つコンポーネントを追加するには:

1. 「Manage sites(サイトの管理)」へナビゲートします:

- Trimble Connected Community 内から:

- a. <http://my.trimbleaccess.com> へブラウザし、Sitemanager(サイト管理者)アカウントを使用してサインインします。更に詳しい情報は、[Accessing Services through the Trimble Connected Community\(Trimble Connected Community を介してサービスにアクセス\)](#) をご参照下さい。




- b.  をクリックするか、ウィンドウ最上部で「Manage Sites(サイトの管理)」ページを選択します。

- Trimble Business Center 内から:

1. 「File(ファイル)」、「TCC」までナビゲートして、「Trimble Access Services」をクリックします。
2. タイトルバーにある「サインイン」をクリックして、登録時に取得した Sitemanager(サイト管理者)の認証情報を使ってサインインします。

メモ - Trimble Business Center 内で、Trimble Access Services の認証情報を定義することができるので、サインインするたびに入力する必要はありません。更に詳しい情報は、[Accessing Services via Trimble Business Center\(Z_TBC を介してサービスにアクセス\)](#) をご参照下さい。



- c. 左側の欄にある  をクリックします。

2. 「現場を追加する」をクリックします。
3. サイトタイトル、短い名前/ID、説明を入力し、「Next(次へ)」をクリックします。
4. 「Allow Access(アクセスの許可)」コラムで、このサイトにアクセスできるユーザを選択します。ユーザにアクセスする権限がある場合は、Trimble Connected Community 内とフィールドコントローラ(ログイン画面)からこれを確認することができます。AccessSync サービスを使用して、コントローラのファイルを同期することができます。
5. サイトを作成するには「Save(保存)」をクリックします。

サイト許可の編集

ユーザにサイトへアクセスできる権限がある場合は、Trimble Connected Community 内とフィールドコントローラ(ログイン時)で確認することができます。AccessSync サービスを使用して、コントローラのファイルを同期することができます。ユーザにサイトへアクセスできる権限を与えるには、「Manage Users(ユーザの管理)」または「Manage Sites(サイトの管理)」サービスで「アクセス許可」を選びます。

サイトを作成したら、以下のいずれかの方法で誰がサイトにアクセスできるのか変更することができます:


- サイトの編集を行って、アクセスできるユーザを選択する、または
- ユーザの編集を行って、ユーザがアクセスできるサイトを選択します。

メモ - Trimble Access のアドバンスサービスを購入している場合、サイトへのアクセス許可レベルをよりコントロールすることができます。例えば、サイト、ページ、ファイルスペース、フォーラムやカレンダーなどのギズモごとに許可を定義できます。一般的に、Owner(所有者)、Editor(編集者)、Viewer(閲覧者)などの異なる許可レベルがあります。こういったアドバンス許可は、AccessSync には必要ありません。アドバンス Trimble Access advanced サービスを購入していたとしても、「Manage Sites(サイトの管理)」と「Manage Users(ユーザの管理)」サービスを使用して許可を管理することが推奨されます。

サイトの削除

サイトの削除を行うとプロジェクトリストからサイトが削除されます。そのサイトに保存される全てのデータにアクセスできなくなります。

サイトを削除するには:

1. 「Manage Sites(サイトの管理)」までナビゲートします。
2. サイト名の横にある  をクリックします。
3. 警告メッセージが表示され、選択したサイトを削除したいかを確認します。警告メッセージの「Yes」をクリックするとサイトが削除され、そのサイトに保存される全てのデータにアクセスできなくなります。


ユーザの管理: 団体にユーザを追加

Trimble AccessService と Trimble Connected Community の各ユーザにはユーザ名が割り当てられ、特定の団体のコンテンツにサインインし、アクセスすることができます。一般的には、Sitemanager(サイト管理者)のみが新規ユーザのアカウントを作成することができます。新規ユーザのアカウントを作成するには:

1. 「Manage Users(ユーザの管理)」へナビゲートします:
 - Trimble Connected Community 内から:
 - a. <http://my.trimbleaccess.com> へブラウザし、Sitemanager(サイト管理者)アカウントでサインインします。更に詳しい情報は、[Accessing Services through the](#)


[Trimble Connected Community \(Trimble Connected Community を介してサービスにアクセス\)](#) をご参照下さい。



- b.  をクリックするか、ウィンドウ最上部で「Manage Users (ユーザの管理)」ページを選択します。
- o. Trimble Business Center 内から:
 1. 「File (ファイル)」、「TCC」へナビゲートし、「Trimble Access Services」をクリックします。
 2. タイトルバーにある「サインイン」をクリックして、登録時に取得した Sitemanager (サイト管理者) の認証情報でサインインします。

メモ - Trimble Business Center 内で、Trimble Access Services の認証情報を定義することができるので、サインインするたびに入力する必要はありません。更に詳しい情報は、[Accessing Services via Trimble Business Center \(Z_TBC を介してサービスにアクセス\)](#) をご参照下さい。





3. 左側の欄にある  をクリックします。
2. 「ユーザーを追加する」をクリックして、該当する「ユーザー情報」詳細を入力します。すべてのフィールドが必須です。「次へ」をクリックします。
3. 「Allow Access (アクセス許可)」コラムにあるサイトを選択して、ユーザがアクセスできるサイトを選択します。

サインインした時に表示されるサイトを決定するには、「Default Site (初期設定サイト)」を選択します。新規ユーザを作成した時にサイトを設定しなかった場合は、「Save (保存)」をクリックします。

「Manage Users (ユーザの管理)」または「Manage Sites (サイトの管理)」をそれぞれ使用して、ユーザまたはサイトの編集を行えば、ユーザにいつでもサイトへのアクセス許可を与えることができます。
4. 「Save (保存)」をクリックします。新規ユーザはセットアップで入力されたメンバーID、団体名、およびパスワードを使ってログインすることができます。

メモ

- ユーザ詳細情報を編集する、またはユーザにアクセス許可のあるサイトの表示/変更するには、 をクリックします。
- ユーザを団体から削除するには、 をクリックします。ユーザを削除すると、Trimble Connected Community 団体のアクセスを削除しますが、Trimble Connected Community サイトにある既存のデータフォルダは削除されません。
- Trimble Access のアドバンスサービスを購入している場合、Navigation Panel (ナビゲーションパネル)にある Trimble Connected Community コントロールを使用してユーザアカウント詳細の作成と変更を行うことができます。このアドバンス コントロール (ユーザの役割を含む) は、

AccessSync で使用する必要はありません。Trimble Access アドバンスサービスを購入していたとしても、「Manage Users(ユーザの管理)」を使用してユーザアカウントを管理することが推奨されます。

Trimble Connected Community Organization の使用

ユーザは、Trimble Access Services にサインインすることができる他、以下のことが行えます：

- 現場とオフィスの間でデータの同期
- プロジェクトサイトのファイルの管理
- パスワードの変更

メモ – Trimble Access アドバンスサービスを購入している場合は、ユーザが幅広い範囲のタスクが行えるように許可を与えることができます。更に詳しい情報は、[Advanced Features of the Trimble Connected Community \(Trimble Connected Community のアドバンス機能\)](#) をご参照下さい。

オフィスにて、Trimble Access Services とファイルにアクセスするには、ウェブブラウザを介して直接 Trimble Connected Community にサインインするか、Trimble Business Center 内から Trimble Access Services を通してサインインするいずれかの方法でアクセスすることができます。または、TCC Explorer からファイルにアクセスすることもできます。デスクトップにインストールされているこのアプリケーションは、マイコンピュータやウィンドウズエクスプローラを介して Trimble Connected Community に保存されているファイルにアクセスすることができます。このオプションの更に詳しい情報は、[Accessing Trimble Access Services \(Trimble Access Services にアクセス\)](#) をご参照下さい。

ウェブブラウザを使って Trimble AccessService の表示

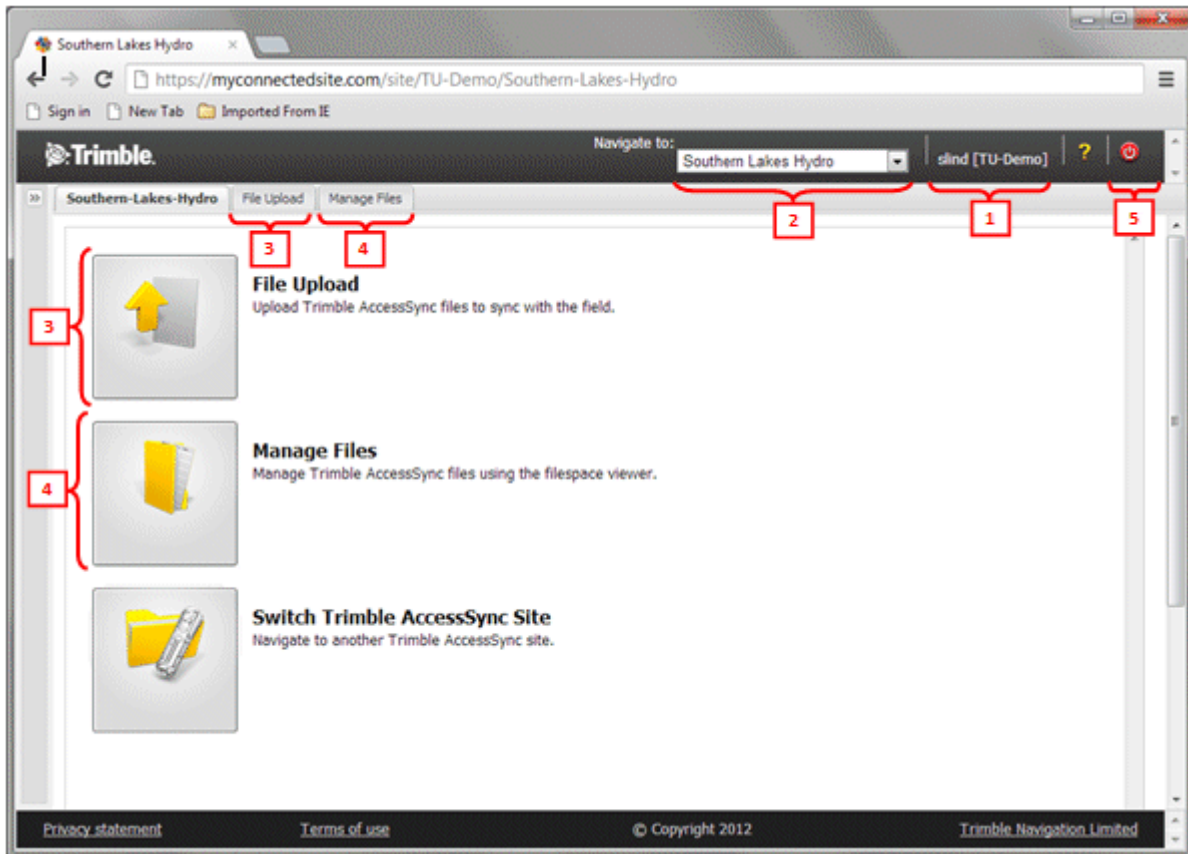
<http://my.trimbleaccess.com> へブラウザして、Sitemanager(サイト管理者)から割り当てられた認証情報を使用してサインインします。

サインインした時に表示されるページは、Sitemanager(サイト管理者)がデフォルトプロジェクトサイトを定義したかどうかにより変わります：

- デフォルトサイトが選択されていない場合、「Trimble AccessService」ページが表示されます。このページでは、Trimble AccessService の使用に関する情報とアクセス許可のあるサイトの一覧表が表示されます。

プロジェクトへナビゲートするには、右側最上部にあるドロップダウンリストからプロジェクトサイトを選択するか、一覧表にあるプロジェクトサイトをクリックします。

- デフォルトサイトが定義されている場合は、そのプロジェクトサイトのホームページが表示されます。以下の図では、プロジェクトサイトの様々な機能を説明しています。



項目	説明
1	ユーザ名と団体
2	現在サインインしているサイト。異なるプロジェクトにナビゲートするためには、ドロップダウンリストからプロジェクトサイトを選択します。
3	「File Upload(ファイルのアップロード)」ウィザードへナビゲートします。ここでは、一人または複数のユーザを選択できます。現場のユーザにファイルをアップロードします。
4	「Manage Files(ファイルの管理)」までナビゲートすると以下のことが行えます： <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトファイルのファイルスペースの表示 - ファイルのアップロードとダウンロード - ユーザ間でファイルの移動
5	サインアウト


AccessSync サービスの使用に関する詳しい情報は、[Transferring files with the AccessSync service \(AccessSync サービスでファイルを転送\)](#) をご参照下さい。

パスワードの変更

Sitemanager(サイト管理者)は、パスワードの変更ができます。または、その他のユーザのパスワードを「Manage Users(ユーザの管理)」で編集して変更することができます。

自分のパスワードを変更するには：

1. ウェブブラウザを使用して Trimble Connected Community にサインインする

2.  をクリックして、画面左側に Trimble Connected Community のナビゲーションパネルを展開します。
3. 「My Settings(マイセッティング)」、「Change My Password(パスワードの変更)」の順にクリックします。古いパスワードと新しいパスワードを入力します。

メモ - パスワードを忘れてしまった場合は、<http://my.trimbleaccess.com> へブラウザし「Forgot Password(パスワードを忘れた場合)」リンクをクリックして、古いパスワードをリセットすることができます。ユーザ名、Trimble Connected Community 団体、メールアドレスを入力します。認証情報が一致すれば、新しいパスワードがメールで送信されます。

Trimble Business Center を介した Trimble Access Services の表示

ウェブブラウザでアクセスした同じサービスが Trimble Business Center を介してアクセスすることもできます。Trimble Business Center からウェブサービスを開くには:

1. 「File(ファイル)」、「TCC」をクリックして、「Trimble Access Services」をクリックします。
2. タイトルバーにある「サインイン」をクリックして、登録時に取得した Sitemanager (サイト管理者)の認証情報でサインインします。

メモ - Trimble Business Center から、Trimble Access Services 認証情報を定義することができるので、サインインするたびに入力する必要はありません。詳しい情報は、[Accessing Services via Trimble Business Center \(Trimble Business Center を介してサービスにアクセス\)](#) をご参照下さい。

初期設定では、最初に Trimble Access Services を読み込むと、「Survey Tools(測量ツール)」サイトにある無料で利用できるサービスが表示されます。その他のサービスを表示するには、サービスウィンドウの最上部右側にあるナビゲーションドロップダウンボックスから「サインイン」を選択して、Sitemanager(サイト管理者)から割り当てられた認証情報を使用してサインインします。

一般的には、Trimble Business Center 内の Trimble Access Services のレイアウトは、基本的にウェブブラウザを介してサービスにアクセスするレイアウトと同じです。

メモ -

- サービスにアクセスするたびにサインインする手間を省くために、ユーザ認証情報を保存することができます。詳しい情報は、[Accessing Trimble AccessService \(Trimble Access Services にアクセス\)](#) をご参照下さい。
- To import files from Trimble Connected Community からファイルを直接 Trimble Business Center へインポートするためには、「Open Remote File(遠隔ファイルを開く)」を使用します。更に詳しい情報は、Trimble Business Center ヘルプをご参照下さい。

TCC Explorer を介してサービスにアクセス

Trimble Connected Community Explorer を使用すると、Trimble Connected Community ファイルスペースに保存されているファイルにアクセスすることができます。その他の Trimble AccessService にはアクセスできません。

TCC Explorer は、ユーザのローカルコンピュータにあるマイコンピュータやウィンドウズ エクスプローラで Trimble Connected Community にある団体ファイルとフォルダ構造を Microsoft Windows XP、Vista、Windows 7 オペレーティングシステムで利用できるようにするために使用されるプラグインです。TCC Explorer は、ユーザが Windows と同じ方法でファイルやフォルダを管理するので、Trimble Connected Community でのファイルやフォルダのナビゲーション性が大幅に向上します。

TCC Explorer のインストールと設定についての詳しい情報は、[Accessing Trimble Access Services \(Trimble AccessService にアクセス\)](#) をご参照下さい。

AccessSync で TCC Explorer を使用するための詳しい情報は、[Transferring files with the AccessSync service \(AccessSync サービスを使ってファイルの転送\)](#) をご参照下さい。

Trimble Connected Community の最新機能

Trimble Connected Community 内で利用できる機能は、大きく 2 つに分類されます：

- ファイルスペース、フォーラム、wiki、ブログまたはビジュアルオーガナイザなどのツールを介した **コラボレーションとコミュニケーションサービス**。コラボレーションとコミュニケーションツールは、全ての Trimble Connected Community ユーザが利用可能な標準的なギズモを介して提供されます。更に詳しい情報は、[目次](#) をご参照ください。
- セットアップや測量プロジェクト、機器を管理するツールを含む **測量ワークフローのサービス**。Trimble Connected Community はこのサービスにアクセスして活用する必要がありますが、全てのコミュニティーユーザが利用できるわけではありません。このサービスは、Trimble Access サービスを購入されたお客様のみご利用可能です。

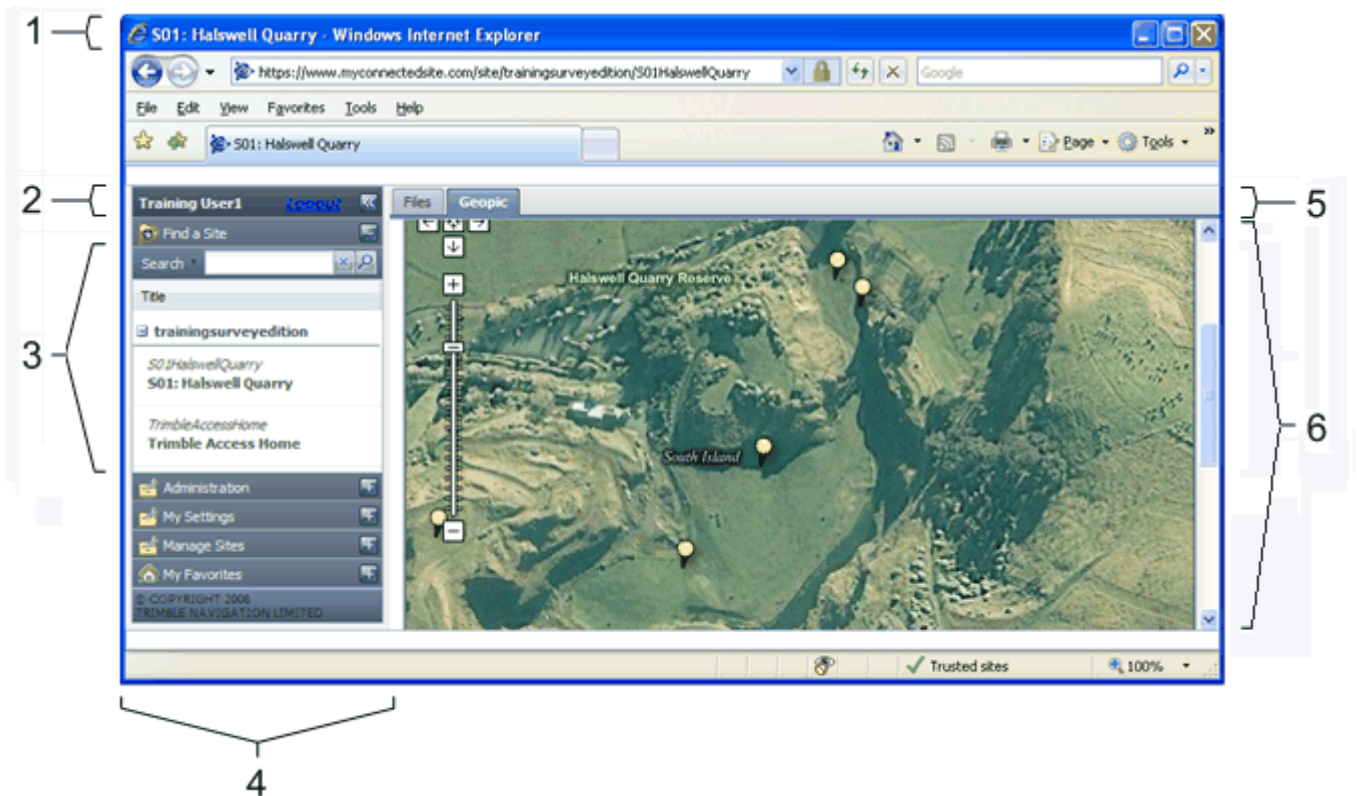
本章は、Trimble Connected Community のフル機能で利用できるコラボレーションとコミュニケーションサービスについて説明します。この機能は、アドバンス Trimble AccessService を購入している場合のみに利用できます。ベーシック Trimble AccessService の使用のみに制限されている場合は、これらの機能にアクセスすることはできません。ベーシック Trimble Access Services についての詳細は [Trimble Access Services Overview \(概要\)](#) をご参照下さい。

ベーシック Trimble Access Services の一部として利用できるコンテンツに加え、アドバンスサービスにアクセスできる団体の管理者は、以下のことが行えます：

- ナビゲーションパネルを使用して TCC 管理ツールにアクセス
- AccessSync での使用に制限されていない一般サイトにアクセス
- AccessSync サイトにページやコンテンツを追加
- 他のユーザに、その他のコンテンツの作成と表示を追加する許可の割り当て
- 団体内で許可やデータセットアップなどより詳細な制御

Trimble Connected Community をナビゲート

ベーシック T_TAService コントロールの外側にある、以下の数値と表は Trimble Connected Community 団体のレイアウトを示しています。



項目	特徴
1	現在選択されているサイト
2	現在ログインしているユーザ
3	団体内で使用可能な他のサイトまたは他の団体と共有している他のサイト
4	ナビゲータパネル。ほかの Trimble Connected Community ツールにアクセスするのに使用します。 団体の種類と許可により、ユーザがアクセスできないツールもあります。
5	サイト内にある使用できないページ。
6	内容

サイト

団体は、共有したい情報を含むサイトを Trimble Connected Community の中に作成することができます。団体は類似データ(例: 測量プロジェクトの情報など)をひとまとめにするためのサイトを1つないし複数含むことができます。

アドバンスド Trimble AccessService を購入されたユーザは、Trimble Connected Community 内にあ
るに2タイプのサイトを利用できます:

- AccessSync サービスで使用するサイト。サイトを介してファイルの送受信をする場合は、必ず「Survey Tools(測量ツール)」サイトの「Create New Trimble Access Site(新規 Trimble Access Site を作成)」ウィザードを使用してそのサイトを作成して下さい。これらのツールは、AccessSync サービスで使用するためのサイトの作成と設定を行います。

AccessSync サービスは、サイトをファイルの送信先として使用します。現場のプロジェクトごとに、または複数のプロジェクト用に1つのサイトをセットアップすることができます。

AccessSync サービスに使用するサイトのセットアップに関する詳しい情報は、[AccessSync と使用するためのサイトの設定をご参照ください](#)。

- 一般・コラボレーション用の汎用サイト。ナビゲーションパネルの「Create New Site (新規サイトの作成)」ボタンを使用して手動で空白のサイトを作成し、ページとコンテンツを追加します。この方法で作成されたサイトでは AccessSync を使用してファイルの送受信はできません。

ページ

データを分類するためにサイトには複数のページを使用することができます。例えば、Trimble Access プロジェクトサイトは通常ファイルとサイトフォーラム用にそれぞれ1ページずつと、Visual Organizer ギズモ用のページを1つ含んでいます。

コンテンツ

各サイトに含まれる情報は「コンテンツ」と呼ばれ、通常サイトの複数のページにまたがっています。

1つのページにいくつもの異なる種類のコンテンツ、または「ギズモ」を含めることもできます。ギズモの種類によって様々なコンテンツをページに載せることができます。例えば、参考資料、双方向性テキスト、画像、ウェブページなどがあります。

Trimble Connected Community にあるコラボレーションとコミュニケーションサービスは、ギズモの標準セットを介して提供されます。

ギズモの例は下表の通りです。

ギズモ	説明
ファイルスペース・ビューワ	フォルダのセットを、アップロードまたはダウンロードしたファイル用に作成し、グループ内の他のユーザと共有できるようにします。 サイトに新しいファイルや新しいバージョンのファイルがアップロードされた時や、サイトからファイルが削除された時にユーザに通知することができます 「ファイルスペース・ビューワ」ギズモとは、Trimble Access ソフトウェアの主要なオフィス・コンポーネントです。
フォーラム	討論やコメント投稿の場を作成することができます。セットアップすることにより、投稿内容をほかのユーザに自動的に知らせたり、ほかのユーザに問題について投票を求めたりすることができます。 フォーラムへの入口にはほかのウェブサイトへのリンクを含めることもできます。 ブログに似ています。ブログにつきましては下記をご参照ください。
Geo ピクチャービューワ	マップベースの表示から画像の場所をとらえることができます。 地図上のピンの場所を選択するとその場所の画像を表示します。
クイックノート	ページにメモを加えることができます。例えば、特定のプロジェクトに関するスタッフへの伝言を伝えるためのメモボードとして使用することができます。
ウェブフレ	ウェブサイトのコンテンツをサイトの1ページにはめ込むことができます。ウェブフレ

ム	ムは、設定ギズモで定義された URL から来る生きたコンテンツです。
ブログ	コメントを投稿できる討論スレッドです。ほかのユーザはコメントを投稿したり、コンテンツに回答したりして対話を始め、内容は順次記録されます。このことにより、1つの問題について様々な人の電子メールを順にたどって追跡する必要がなくなります。
Wiki	サブページの集まりで、テキスト、画像、URL リンクなどの様々な種類のコンテンツを含むことができます。エディタ権を持つユーザは誰でも Trimble Connected Community 内の編集ツールを使用してページを編集したり、より優れたフォーマット機能を持つ Microsoft Word や Excel スプレッドシートなどのアプリケーションを使用して新しいページをオフラインで作成し、Wiki ページに貼り付けることもできます。 Wiki にはテキスト、ハイパーリンク、表、画像などを載せることができます。
カレンダー	オンラインで共有できるカレンダーで、プロジェクトイベントおよび会議などの日程を決めるのに使用することができます。
RSS ビューワ	選んでページ内に表示できるニュース配信です。
Visual Organizer	マップベースのビューワで、リアルタイムの捕捉データや写真、線画、DXF ファイルからのポイントなどのデータをレイヤ表示することができます。

メモ - 「Manage Sites (サイトの管理)」ツールは自動的に Trimble Access Services で使用される標準的なサイトレイアウトを生成します。こうしたサイトにはファイルスペースビューワが含まれます。さらに詳しい情報につきましては、[AccessSync を使用して新規 Trimble Access プロジェクトサイトを作成する](#) をご参照下さい。

コンテンツの種類と追加方法に関する詳しい情報につきましては、所属の Trimble Connected Community 団体のヘルプをご参照ください。

Trimble Connected Community メンバータイプ

通常 1 つの団体内には 3 段階のメンバータイプがあります:

- サイトマネージャ / 管理者: 団体セットアップをすべて制御できる権限を持ちます。
- ユーザ: サイトマネージャに許可された事をすべて実行できます。
- ゲスト: 「すべてのユーザ」グループの一員ではないため、初期設定においては団体内へのアクセス権が限定されています。許可を得れば団体内においてほとんどの事を実行できることが可能になります。

ヒント - サイトマネージャのログインは、Trimble Connected Community 団体の管理にのみ使用することをお勧めします。日常の作業にはユーザアカウントを作成してください。

団体にメンバーを追加

Trimble Connected Community の各ユーザにはメンバーID が割り当てられ、特定の団体のコンテンツにログインすることができます。新規ユーザのアカウントを作成するには、[ユーザの管理](#) ツールを使用します。

ユーザアカウントの詳細設定を更に定義するには、ナビゲーションパネルにある Trimble Connected Community Manage Members (メンバーの管理) ユーティリティを使用することができます。

許可

特定の項目に対する許可の有無により、団体に属するユーザがアクセスできる Trimble Connected Community 内の機能は異なります。許可は各サイト、ページ、ファイルスペース、およびフォーラムやカレンダーといった追加機能ごとに定義することができます。

許可のレベルには、オーナー、エディタ、ビューワがあります。

メモ

- ユーザが AccessSync サービスを使用するには、ファイルスペースへのオーナーアクセス許可とサイトおよびページへのビューワ許可の両方が必要です。
- 特定の機能を見たり設定したりできないのは、許可がないためです。許可を得るにはサイト管理者にお問い合わせください。

グループを使った許可の管理

団体内には、グループ名を決めてユーザグループを設置することができ、この各ユーザグループにアクセス権を割当てることができます。

団体をセットアップする際には、一人一人のユーザにアクセス権(許可)を割り当てるよりも、グループにしたユーザに割り当てることをお勧めします。個人のユーザよりもグループのユーザに共通の許可を設定した方が簡単で効率的ですし、エラーも少なくなります。

例えば、ユーザを 1 人追加してファイルスペースなどの特定のコンテンツへのアクセスを許可したい場合は、上記の通りにアカウントを作成し、サイト、ページ、およびファイルスペースへのアクセス権を付与します。そして同じアクセス権を必要とするメンバー全員にこれをコピーします。団体に所属するユーザの大多数に異なるレベルのアクセス権を割り当てる必要があるか、または同じアクセス権を与えてもよいかを検討します。ユーザを作成したら同じアクセス権を共有するグループに追加する方がより簡単です。

新規グループの作成

すべてのユーザがアクセス権を共有する新規グループを作成する:


1. Trimble Connected Community アカウントにログインします。
2. ページ左側のナビゲータパネルで、「Administration (管理)」、そして「Manage Groups (グループの管理)」をクリックします。
3. 「Add Group (グループの追加)」をクリックします
4. 「名前」や「説明」を付けて共通のアクセス権を持つグループとして認識しやすいようにします。
例: 「現場作業員 A」




5.  をクリックし、必要なユーザをグループに追加します。「保存」をクリックします。


「Site Inspector (サイト検査員)」を使用してユーザグループにサイトやそのすべてのコンテンツへのアクセスを付与します

「Site Inspector」を使用してサイトに含まれるすべてのコンテンツタイプは1つの場所から更新することができます。:

1. サイトへのアクセス許可を変更したいサイトへ移動します。
2. 「Manage Sites(サイトの管理)」をクリックし、「Site Inspector」をクリックします。
3. サイト名のとなりにある  をクリックします。




4.  をクリックし、「Groups(グループ)」タブをクリックします。新規グループを、そのサイトへのアクセス権を持つユーザーリストに追加します。
5. アクセス権のレベルを Owner(オーナー)、Editor(編集者)、または Viewer(閲覧者)に設定し、「Save」をクリックします。
6. アクセス権を付与するコンテンツタイプを選び、「Sync Selected To Site Permissions(サイト許可を同期)」をクリックします。


ヒント - これによりコンテンツタイプの許可がホストサイトと全く同じになるように更新されます。許可を変えるには各コンテンツタイプの横にある  をクリックします。

新規ユーザを既存のグループに追加

新規ユーザに既存のグループと同じコンテンツへのアクセスを許可するには、グループに新規メンバーとして登録するだけでいたって簡単です:

- a. メンバーアカウントを作成します([c 体にメンバーを追加を参照](#))。
- b. 「Administration(管理)」、そして「Manage Groups(グループの管理)」をクリックします。
- c. 更新するグループ名の横にある  をクリックします。



- d.  をクリックし、このグループに追加する必要があるユーザをすべて選びます。
- e. 「Save(保存)」をクリックします。

メモ - ユーザまたはゲストが団体から削除されると、所属していたすべてのユーザグループからも自動的に削除されます。

AccessSync

AccessSync 概要

AccessSync サービスを使用して、オフィスの Trimble Connected Community サイトと現場のコントローラとの間でジョブや関連ファイルの転送をします。

AccessSync サービスは、インターネット接続を利用して Trimble Access ファイルを転送します。現場では、オンラインモードでシステムにログインし、現在の Trimble Connected Community プロジェクトサイトを選択して、どこのサーバにファイルを転送するかを定義します。

詳細については、以下を参照してください。

- [現場からオフィスへファイルを転送する](#)
- [オフィスから現場へファイルを転送する](#)
- [Trimble Connected Community と Trimble オフィスソフトウェア間でファイルを送受信する](#)

オフィスから現場のコントローラへファイルを転送する場合、ファイルのタイプによってはコントローラに必要なバージョンに [自動変換](#) されるものがあります。ユーザは、必ず正しいユーザ名でサインインし、正しいサイトにログインしていなければなりません。

AccessSync で使用されるフォルダ構造を理解する

オフィスから現場に AccessSync を使用してファイルを転送するには、フォルダの構造を理解しておく必要があります。オフィスから現場にファイルを転送するには、ファイルを必ず Trimble Connected Community の適切なフォルダに保存します。ユーザは、正しいユーザ名でサインインし、正しいサイトにログインしていなければなりません。

Trimble Connected Community プロジェクトサイト内にあるフォルダ構造は、常に同じです：

- **ユーザ名**

あるプロジェクトにログインする全てのユーザを含むユーザ名ディレクトリが作成されます。AccessSync サービスは現場ログイン情報を使用して、現場データを送信する先のユーザフォルダを決定します。

メモ - ファイルはコントローラではなくユーザアカウントに送信されます!

- **<コントローラシリアル番号>から**

コントローラからデータを保存するために Trimble Access ソフトウェア にログインすると、「<シリアル番号>から」フォルダが作成されます。コントローラにある「Trimble Data<ユーザ名>」フォルダに保存されている全てのファイルやフォルダは、AccessSync にあるフォルダを選択すると同期されます。

複数のコントローラにログインしている場合は、「<シリアル番号>から」フォルダも複数あります。

- **現場へ**

「現場へ」フォルダは、オフィスから特定の現場ユーザへファイルを送信するのに使用されます。このフォルダにある全てのファイルは、現場ユーザが Trimble Access ソフトウェア にログインすると送信され、適切なフォルダを選択してから同期します。

「現場へ」フォルダにあるファイルは、Trimble Access ソフトウェア (AccessSync サービスを含む) がインストールされているすべてのコントローラへ送信することができます。複数のコントローラに同じユーザ名でログインしている場合は、それぞれのコントローラにファイルは送信されます。

- **システムファイル**

「システムファイル」フォルダは、オフィスから特定の現場ユーザへシステムタイプファイルを送信するのに使用されます。現場ユーザが Trimble Access ソフトウェアにログインし、「システムファイル」フォルダを選択してから同期すると、このフォルダにある全てのファイルが送信されます。フォルダにあるファイルは、Trimble Access ソフトウェア (AccessSync サービスを含む) がインストールされているコントローラすべてに送信することができます。複数のコントローラにログインしている場合は、それぞれのコントローラにファイルは送信されます。

どのファイルがシステムファイルで、コントローラにあるシステムファイルフォルダ内に保存しなければならないかについては、General Survey ヘルプにある [ファイル管理](#) をご参照ください。

メモ - システムファイルを「現場へ」フォルダに直接保存すると、Trimble Access ソフトウェアがシステムファイルを検出してコントローラの適切な場所へ移動します。

- **全てのユーザ**

オフィスから全てのユーザ (現在の Trimble Connected Community サイトにログインし、ダウンロードする適切なファイル/フォルダを選択しているユーザ) へファイルを送信するために「全てのユーザ」フォルダは使用されます。

「全てのユーザ」フォルダにあるファイルは、Trimble Access ソフトウェア (AccessSync サービスを含む) がインストールされているすべてのコントローラへ送信することができます。あるプロジェクトのユーザーが複数のコントローラにログインしている場合は、それぞれのコントローラにファイルは送信されます。

- **システムファイル**

「システムファイル」フォルダは、現在の Trimble Connected Community サイトにログインし、「システムファイル」フォルダを選択して同期する全ての現場ユーザへオフィスからシステムタイプファイルを送信するのに使用されます。フォルダにあるファイルは、Trimble Access ソフトウェア (AccessSync サービスを含む) がインストールされているすべてのコントローラへ送信することができます。あるプロジェクトに携わるユーザが複数のコントローラにログインしている場合は、それぞれのコントローラにファイルは送信されます。

どのファイルがシステムファイルで、コントローラにあるシステムファイルフォルダ内に保存しなければならないかについては、General Survey ヘルプにある [ファイル管理](#) をご参照ください。

メモ - システムファイルを「全てのユーザ」フォルダに直接保存すると、Trimble Access ソフトウェアがシステムファイルを検出してコントローラの適切な場所へ移動します。

コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御

オフィスからフィールドへファイルを転送する際に、コントローラ上にすでに同じ名前のファイルがある場合は、初期設定では、新しいファイルの方の名前の最後に「(1)」が付与され、変更が上書きされないようにします。

初期設定のファイル同期動作を変更するには、「.fsoxml」の拡張子を持つファイル同期オプション XML ファイルを作成し、フィールドへコピーされるファイルと同じフォルダ内に保存します。

注記 - 1 つのディレクトリ内に複数の .fsoxml ファイルを保存することができますが、.fsoxml ファイルによって重複するファイル名に対する動作オプションが異なる場合、どのオプションが使用されるかは予想できません。

以下の.fsoxml ファイルの例では、オプションの具体例が示されています。ファイル名は大文字小文字を区別しませんが、他の文字列は区別しますので例の通りに書いて下さい。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<FileSyncOptions ApplyToSubfolders="True">
<File Name="*ctrl*.csv" DuplicateDownload="VersionNewFile" />
<File Name="*.csv" DuplicateDownload="ReplaceOldFile" />
<File Name="design.dxf" DuplicateDownload="VersionOldFile" Alert="EveryFile" />
<File Name="*.dxf" DuplicateDownload="VersionOldFile" Alert="None" />
<File Name="*.*" Alert="None" />
</FileSyncOptions>
```

パラメータ	説明
ApplyToSubfolders	このパラメータが「FileSyncOptions」要素に含まれていたら、この.fsoxml ファイルに含まれているオプションは、どの階層にあるサブフォルダにも適用されます。「Name」パラメータが.fsoxml ファイルと同じフォルダ内にある同名のファイルを生じ生成する場合、このオプションはこれより高い階層のフォルダに含まれるより一般的なオプションよりも具体的と見なされ、一般的なオプションを上書きします。「ApplyToSubfolders」が省かれていたり、「偽」に設定されていた場合は、このオプションはこのフォルダのみに適用されます。
Name	オプションが適用されるファイル名を指定します。ワイルドカード「*」と「?」をファイル名のどこにでも使用できます。1 つの「*」は任意の数の任意の文字に相当し(0文字も含む)、1 つの「?」は任意の 1 文字に相当します。 AccessSync がダウンロードされたファイルに対するオプションを検索するときには、ファイル名に含まれる「to the field」の文字列を探し、.fsoxml ファイル内で最初に見つかったファイル名を使用します。従って、上記の.csv ファイルの例にあるように、より具体的なファイル名を先に入力してください。ここでは、ダウンロードされた.csv ファイルのうち、「ctrl」の文字が含まれるファイル以外はすべて置き換えられます。「ctrl.csv」のルールが「*.csv」ルールの後に続く場合は、すべての.csv ファイルは「*.csv」に一致するため「*ctrl*.csv」には影響されません。
DuplicateDownload	ダウンロードされたファイルのバージョン付けを制御します。このパラメータの値は次の通りです: 「VersionNewFile」は、新しくダウンロードされたファイルに対し、現在コントローラ上に保存されているファイルの最も新しいバージョンよりも 1 つ新しいバージョン番号をつけて保存します。これは初期設定のオプションで、ほかにファイル名に一

	<p>致するオプションがない場合に適用されます。</p> <p>「ReplaceOldFile」は、古いファイルを上書きし、以前の内容は破棄されます。既存のバージョン番号のついたファイルは無視されます。このオプションには注意が必要です。ファイルが突然変更されるとソフトウェアが混乱することがあります。通常は使用中のファイルは上書きされず、警告が表示されますので、ユーザがなんらかの修正措置をとることができます。</p> <p>「VersionOldFile」ではファイルの古いバージョンを1つ残します。既存の古いバージョンのファイルは置き換えられます。バージョン番号には、既存の新しいバージョンのファイルと区別するために「-2」が付与されます。ダウンロードされたファイルのファイル名は変更されません。</p>
Alert	<p>これらのファイルに対して警告がどのように表示されるかを制御します。このパラメータの値は次の通りです：</p> <p>「EveryFile」はダウンロードされた各ファイルに対する新しい警告を表示します。警告にはファイル名も含まれます。</p> <p>「None」はいかなるファイルに対しても警告を発生しません。</p> <p>「Count」は前回警告が表示されてからダウンロードされたファイル数を1つの警告で表示します。「EveryFile」と「None」の結果として表示されるファイルダウンロード警告は、ファイル数に含まれますが「Count」警告は表示されません。初期設定のオプションは「Count」です。</p>

CONTROL.CSV という名前のついたファイルがコントロール上に保存されている場合で、同じ名前のついた新しいファイルが同じフォルダ内に送信された場合に更新するには、以下の内容の ControlCSV.fsoxml ファイルを作成し、control.csv ファイルと同じフォルダ内に保存します：

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<FileSyncOptions>
<File Name="control.csv" DuplicateDownload="VersionOldFile" Alert="EveryFile" />
</FileSyncOptions>
```

新しい control.csv ファイルがコントローラに送信されてくると以下の動作が実行されます：

- 新しい control.csv ファイルについての警告が表示される
- 既存の control.csv ファイルは「control (-2).csv」という名前に変更される(従ってこの名前が付いている既存のファイルは上書きされる)
- 新しい control.csv ファイルがコントローラにコピーされる

上記の例では、「control.csv」を「*.csv」に置き換えると、すべての CSV ファイルが置き換えられます。「control.csv」を「*.」に置き換えると、fsoxml ファイルの保存先と同じフォルダ内のすべてのファイルが置き換えられます。

メモ

- ファイルのアップロード・ダウンロード時には、.fsoxml ファイルが最優先され、データファイルとダウンロード・オプションが同時にフィールドに送られるようになっています。
- ファイルのダウンロード時には、既存の.fsoxml ファイルは常に新しい同名の.fsoxml ファイルに置き換えられます。これは.fsoxml ファイル内の DuplicateDownload 設定と関係ありません。

- AccessSync の実行中に.fsoxml ファイルを変更すると、新しいオプションが読み込まれ、以後のすべてのダウンロードに対して実行されます。
- 間違った.fsoxml ファイルが読み込まれると、AccessSync はシステムファイルフォルダ内の TrimbleAccess ログファイルにメッセージを出力したうえで続行します。エラーによっては、エラーが起こる前のファイル内のいくつかの項目が読み込まれ、使用されることもあります。

現場からオフィスへファイルの転送

AccessSync サービスにより、インターネット接続を介して現場にあるコントローラから Trimble Connected Community プロジェクト現場にファイルを転送することができます。

1. Trimble Access ソフトウェアを開始します。
2. コントローラにある Trimble Access [インターネット設定](#) ツールを使用してインターネット接続を設定します。
1. [Trimble Access ソフトウェアにログインする](#)。AccessSync サービスが正しく設定されているか確認するには:
 - 「オンライン」ログインモードを選択します。
 - 正しい Trimble Connected Community ユーザー名(メンバーID)とパスワードを使用します。
 - 適切な Trimble Connected Community 現場を選択します。これによりファイルが同期される場所を決定します。
2. コントローラで AccessSync サービスを開始し、同期するフォルダを選択します。

The AccessSync サービスは、表の形式でファイル転送進捗状況を表示します。詳細は下の表の通りです。

コラム	説明
フォルダ名	<p>コントローラにあるフォルダ名を Trimble Connected Community と同期することもできます。</p> <p>以下の名前が表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> - <ユーザ名> - システムファイル - ユーザ名フォルダを含むプロジェクトフォルダ <p>フォルダ名の左側にあるチェックボックスは、フォルダの同期状況を示します。より詳しい情報は、以下の表手順 5 をご参照ください。</p>
状況	<p>ファイル転送処理の追加情報を表示します。</p> <p>以下のいずれかのステータスが表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「アイドル」は、転送するファイルがないか、フォルダが同期用に選択されていないことを示します。 - 「x / y」は、y個のファイル中、x個のファイルが転送されたことを示します。 <p>ステータスをタップして転送されている個別ファイルの一覧を表示します。上下矢印は、ファイルが送信されるか受信されるかを示します。上向きの矢印は、ファイルが Trimble Connected Community に送信される必要があることを示し、下向きの矢印は Trimble</p>

	Connected Community からダウンロードする必要があることを示します。優先覧をタップして、送受信するファイルを選択し、送受信の優先順位を決めます。または、全てのファイル優先順位を変更することもできます。
TCC サイト	Trimble Connected Community サイトのファイル送信先と送信元。

さらに、現在の転送状況を示すために、表内の列ごとに色が変わります:

- 緑は、フォルダが同期され、ほかの変更など転送するものないことを示します。
- 赤は、1つ以上のファイルの転送に問題があることを示します。

5. 必要に応じてフォルダごとにチェックボックスを設定します。送信されるファイルがフォルダ内にある場合はそのフォルダはフォルダリストに表示されますが、それ以外はユーザ名フォルダに送信されます。それぞれのチェックボックスには、3つの状況が考えられます:

状況	同期作業
<input checked="" type="checkbox"/>	フォルダにあるファイルは、現在の Trimble Connected Community サイトと同期されます。これらのファイルの同期を中断するには、このチェックボックスをタップします。
<input type="checkbox"/>	フォルダにあるファイルは現在の Trimble Connected Community サイトに 同期されません 。このファイルの転送を開始するには、このチェックボックスをタップします。
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の Trimble Connected Community サイトに割り当てられていないため、フォルダにあるファイルは 同期されません 。現在の Trimble Connected Community サイトにファイルを割り当てるには、このチェックボックスをタップします。

6. サイトにあるファイルがアップロードされたり、更新されたりした時には、Trimble Connected Community を設定して他のユーザーへ電子メールすることができます。

メモ

- 一度設定されると、AccessSync サービスは、コントローラにある選択されたプロジェクトフォルダのファイルを現在の Trimble Connected Community サイトと 30 秒毎に比較します。もしコントローラにあるファイルがサイトになかったり、ファイルが異なったりした場合は、コントローラから変更がアップロードされます。
- 選択されたプロジェクトフォルダにある全てのファイルは、コントローラから現在の Trimble Connected Community サイトに転送されます。
- 「システムファイル」フォルダにある*.fxl ファイル、*.rtd ファイル、*.log ファイルのみ、コントローラから Trimble Connected Community に転送されます。
- インターネットに接続されていない場合は、接続された時に転送されます。
- インターネット接続によりGPS補正情報を受信している場合、GPS補正情報はファイルのアップロードより優先されます。
- オフィスから現場のコントローラに送信するデータ量には制限はありません。
- AccessSync は、8MB 以上のファイルは転送しません。

- AccessSync ファイルのより詳しい転送履歴を見るには、「履歴」ソフトキーをタップします。
- 表のデータを並べ替えるには行の見出しをタップします。

一日を通して連続的にデータをアップロードする必要がない場合は、ファイル転送処理を最適化することができます：

1. 現場セッションの開始時点で：
 - a. AccessSync サービスを開始して、Trimble Connected Community からダウンロードされるファイルを含むフォルダの チェックボックスを有効にします。
 - b. ファイルの同期が完了したら、AccessSync ウィンドウにある チェックボックスを外して連続ファイル転送を無効にします。
2. 現場セッションの終了時点で：
 - a. AccessSync サービスを開始して、オフィスに送信されるファイルを含むフォルダの チェックボックスを有効にします。

ヒント – AccessSync サービスは、ファイル送信に Wifi、携帯モデム、ActiveSync 接続など、あらゆる種類のインターネット接続を使用することができます。利用できるバンド幅により、同期速度は異なります。通常 ActiveSync のケーブル接続が最も速く、続いてWifi接続、携帯モデムの順となります。最速の転送速度を確保するには、できる限りケーブル接続を使用してください。

Trimble Connected Community サイトを現場で変更する

The AccessSync サービスは、ログインした際にコントローラで選択した現在の Trimble Connected Community サイトにファイルを転送します。このサイトを変更するには、再度ログインして適切なサイトを選択します：


1. Trimble Access ソフトウェアを開始します。
2. コントローラにある Trimble Access [インターネット設定](#) ツールを使用してインターネット接続を設定します。
 - 「オンライン」ログインモードを選択します。
 - 正しい Trimble Connected Community ユーザー名（メンバーID）とパスワードを使用します。
 - 適切な Trimble Connected Community 現場を選択します。これによりファイルが同期される場所を決定します。
3. コントローラで AccessSync サービスを開始します。
4. 同期モードの チェックボックスは、ファイルが新規サイトに割り当てられていないことを示します。チェックボックスをタップして、プロジェクトを現在のサイトに割り当てます。
5. 同期モードの チェックボックスをタップして、新規 Trimble Connected Community サイトへファイルの転送を開始します。

オフィスで通知をセットアップする

Trimble Connected Community ファイルスペース・ビューワのギズモを設定して特定のユーザやアドレスに電子メールを送り、ファイルの新規作成、変更、削除などを知らせることができます。


この設定は、AccessSync サービスを使用してフィールドから送られてくるファイルをオフィスで待っている人にとっては特に便利です。

通知をセットアップするには以下を行ないます:

1. Trimble Access プロジェクトサイトまでブラウズします。
2. 通知メールを受信したい時を決めます:
 - プロジェクト内のユーザが変更を行なった場合は、「ファイルスペース・ビューワ」ギズモの中の最も高いレベルを選びます。
 - プロジェクト内の個人ユーザが変更を行なった場合は、ファイルスペース・ビューワのギズモ内にある〈ユーザ名〉フォルダを選びます。
3. 通知アイコン  をクリックします。
4. 「通知の追加」を選び、新規通知作成のウィザードに従います:
5. ステップ 1: 通知メールが作成される時間を決める情報を入力します:
 - ファイル名パターンを入力します。
 - すべてのファイルには「*」
 - 特定の種類のファイルすべてには「*.<ファイル拡張子>」。例えば、General Survey ジョブファイルを受信したときに通知を受け取るには、「*.job」を入力します。
 - 特定のファイルには、ファイル名と拡張子を入力します。例: 「ProjectA.job」。
 - 特定の機能が表示されない、または使用できない場合には、許可がない可能性があります。サイトマネージャから許可を得てください。
 - [このフォルダ内のすべてのフォルダに適用]を選択し、フォルダシステム内のすべてのファイルから通知メールが作成されるようにします。
6. 「次へ」をクリックします
7. ステップ 2: 受信者情報を入力し、通知メールが誰に送信されるかを指定します:
 - 「メンバーの追加」は、ユーザプロフィールに保存されているメールアドレスを使用して、Trimble Connected Community 内のユーザに通知メールを送信します。
 - 「グループの追加」は、個々のユーザプロフィールに保存されたメールアドレスを使用して Trimble Connected Community 内に予め設定されたユーザグループに通知メールを送信します。
 - 「電子メールの追加」を使用すると、メールアドレスを入力することができます。
8. 「次へ」をクリックします。
9. ステップ 3: 件名欄と本文に入力を行ない、通知メールの内容を作成します。ファイルの特定の情報を自動的に作成する変数を入力することもできます:
 - 「%filename%」は変更されたファイルの名前を表示します。
 - 「%folder%」はそのファイルが入っているフォルダ名を表示します。
 - 「%contents%」はファイルのコンテンツを表示します。
 - 「%link%」はファイルへのリンクを表示します。
10. 「終了」をクリックします。

メモ



-  は、そのフォルダの通知が設定されたことを表します。

- 受信者は、スパムフィルタを更新し、notifications@myconnectedsite.com からの通知を受信できるようにする必要があります。
- 特定のフォルダに複数の通知をセットアップすることもできます。
- 通知メールの詳細を編集するには、通知が設定されているフォルダを反転表示し、を選んでから対象となる通知の「編集」または「削除」を選びます。

Trimble Connected Community と Trimble オフィスソフトウェア間でファイルを送受信する

メモ - Trimble Access ソフトウェアからデータをインポートするには、Trimble オフィスソフトウェアがインストールされているコンピュータのインストールマネージャから、「オフィスアップデート」をインストールします。

Trimble Connected Community から Trimble オフィスソフトウェアパッケージにインポートできます。

- **Trimble Connected Community 内から行う**
 - Trimble Connected Community にある job ファイルまたは jxl ファイルまでブラウズし、そのファイルをダブルクリックします。「Open with」を選択して「ブラウズ」をクリックします。適切なソフトウェアを選択します。ソフトウェアが起動し、選択したファイルが開きます。
 - ファイルを選択して、「選択したファイルのダウンロード」をクリックします。ファイルをコンピュータに保存して、Trimble オフィスソフトウェアを使用してファイルを開きます。
 - 複数のファイルをダウンロードするには、を選択して FTP 実行ファイルをダウンロードします。ファイルを実行してブラウザウィンドウを開きます。必要なファイルを選択してローカルにコピーします。Trimble オフィスソフトウェアを使用してファイルを開きます。
- **Trimble Access Drive を使用してオフィスソフトウェア内から行う**
 - Access Drive を使用してドライブから Trimble Connected Community にあるデータを表示します。Trimble オフィスソフトウェアで、そのファイルを開くまたはインポートし、表示されているドライブまでブラウズします。（初期設定では W:¥ drive）
 - Windows Explorer で、TGC エクスプローラまでブラウズし、インポートするファイルを選択します。これらのファイルをオフィスコンピュータのソフトウェアにドラッグ・アンド・ドロップします。

オフィスから現場へファイルを転送する

AccessSync サービスにより、インターネット接続を介して Trimble Connected Community プロジェクトサイトからコントローラにファイルを転送することができます。

オフィスから現場へのファイルの転送には、オフィスと現場のコントローラの両方で必要な手順があります。

オフィスにて


AccessSync サービスを使用してファイルを転送するには、オフィスでのフォルダの構造を理解しておく必要があります。現場にファイルを転送するには、ファイルを Trimble Connected Community 内の適切なフォルダに保存しなければなりません。フォルダの構造の詳細な情報は、[AccessSync で使用されるフォルダ構造を理解する](#) をご参照下さい。


ファイルを現場に転送するために、まずこのファイルを Trimble Connected Community の適切なフォルダに保存して、以下のうち1つを実行します：

- **Trimble Connected Community または Trimble Business Center 内で「File Upload(ファイルのアップロード)」ウィザードを使用する:**

フォルダの構造を熟知していなくても、「File Upload(ファイルのアップロード)」ウィザードが、ファイルを適切な場所に保存するための手順を説明します。

1. File Upload(ファイルのアップロード)ウィザードへブラウズします。Trimble Connected Community または Trimble Business Center のどちらかにある関連したプロジェクトサイトからウィザードにアクセスできます。更に詳しい情報は、[Trimble Access Services にアクセスする\(Accessing Trimble Access Services\)](#) をご参照下さい。
 2. 「ファイルの選択」をクリックして圃場へ送信したいファイルまでブラウズします。一回で複数のファイルを選択することができます。「次へ」をクリックします。
 3. 「Survey Tools(測量ツール)」サイト内からウィザードにアクセスしている場合、ファイルを送信するプロジェクトサイトを選択してください。
 4. ファイルを送信するユーザを選択、またはプロジェクトにいる「全てのユーザ」にファイルを送信します。
 5. ファイルを保存するフォルダを選択します。ファイルを圃場へ送信するには、「現場へ」フォルダに保存しなければなりません。通常は、コントローラでファイルの転送を管理するのが簡単になるため、「現場へ」フォルダ内にあるプロジェクトフォルダに保存するのが望ましいです。フォルダは、「新規フォルダ」、「フォルダ名の変更」、「フォルダの削除」ボタンを使って編集することができます。フォルダを編集すると、前の手順で選択された全てのユーザのフォルダの構成を更新します。「次へ」をクリックしてファイルをアップロードします。
 6. ファイルがアップロードされると、概要スクリーンが表示されます。「完了」をクリックします。
- **ファイルスペースギズモを使用してファイルを直接 Trimble Connected Community のファイルスペースにアップロードまたはコピーします。**
 1. [Trimble Connected Community](#) にログインし、ファイルを受信するプロジェクトサイトまで閲覧します。
 2. 以下の1つを実行します：
 - 1人のユーザへファイルを転送する場合は、フォルダ名をそのユーザ名で拡張して、「現場へ」フォルダを選択します。
 - プロジェクトの全てのユーザーにファイルを転送する場合は、「全てのユーザー」フォルダを選択します。
 3. 以下の1つを実行します：

- 1つのファイルを転送する場合は、「アップロードファイル」を選択して、転送したいファイルrまでブラウズします。

- 複数のファイルを転送する場合、を選択して FTP 実行ファイルをダウンロードします。そのファイルを実行してブラウザのウィンドウを開くと直接複数ファイルをコピーすることができます。

- **Trimble Connected Community Explorer を使用して Trimble Connected Community のファイルスペースにファイルをアップロードまたはコピー**

1. ウィンドウズ・エクスプローラで Trimble Connected Community Explorer へ移動し、ファイルを送信するプロジェクトフォルダへ移動します。
2. 以下の1つを実行します：
 - 1人のユーザーへファイルを転送する場合は、フォルダ名をそのユーザー名で拡張して、「現場へ」フォルダを選択します。
 - プロジェクトの全てのユーザーにファイルを転送する場合、「全てのユーザー」フォルダを選択します。
3. 送信するファイルまたはフォルダをコピーして貼り付けます。

- **電子メールで Trimble Connected Community のファイルスペースにファイルを直接送信**

メモ - この機能は、アドバンス Trimble Access Services を購入したユーザのみが利用できません。

1. [管理 / ファイルスペース管理]を選択します。
2. リストの中から適切なファイルスペースを探し、[ファイルスペース編集]アイコン(鉛筆)をクリックします。
3. [メール]タブから[このファイルスペースへのメールを有効化する]を選択します。
4. 次のタイトルがついた電子メールアドレスをメモします:「添付ファイル(既存のファイル)を保存するだけの場合はこのアドレスを使用する」。これがこのファイルスペースへの電子メールに使用するベース電子メールアドレスとなります。

ヒント: ファイルスペースへのファイルの送信者を制限するには、受信を許可する送信元のメールアドレスを「次の送信者からの電子メールのみを受信する」のボックスの中に入れます。各メールアドレスは、別の行に入力して下さい。アスタリスクをワイルドカードとして使用することもできます。例えば、「*@mycompanydomain.com」は、「@mycompanydomain.com」で終るメールアドレスのユーザならだれでも許可されます。

5. 「保存」を選択します。

ヒント

- メールアドレスの中で、空白のあるファイル名のフォルダがあるときには(「To All Users」など)、「%20」を入れて空白を埋めて下さい。
- AccessSync サイトが使用するファイルスペース名は次のようにして特定できます:

- ご使用のウェブブラウザから適切な AccessSync サイトにナビゲートして Trimble Connected Community へログインする。
 - 「すべてのファイル」ページを選択
 - ファイルスペースギズモで、ギズモオプションの設定をクリック
 - 「My organization (私の組織)」タブをクリック (選択されていない場合)
 - ファイルスペースギズモが関連付けられているファイルスペースの名前がハイライトされます。
- 4 番目の手順でメモしたメールアドレスに送信するとファイルはファイルスペースに送られます。しかし、Trimble Connected Community にログインせずに特定のユーザや「すべてのユーザ」宛にファイルを送り、ファイルを適切なフォルダに移す場合は、アドレスを変更して下さい。

アドレスフォーマットは:

<tcc 組織略称><ファイルスペース><サブフォルダ>@tccattachments.com

例えば、ファイルスペース名が「northernroad」で会社名の Trimble Connected Community 略称が「southernsurveys」の場合は:

- 「すべてのユーザ」にファイルを送るには、
「southernsurveys.northernroad.To%20All%20Users@tccattachments.com」宛に送ります。
- 「bsmith」というIDのメンバーに送るには、
「southernsurveys.northernroad.bsmith.To%20the%20Field@tccattachments.com」に送ります。

現場にて

1. [Trimble Access ソフトウェアにログインします。](#) AccessSync サービスが正しく設定されているか確認するには:
 - 「オンライン」ログインモードを選択します。
 - 正しい Trimble Connected Community ユーザー名 (メンバーID) とパスワードを使用します。
 - 適切な Trimble Connected Community 現場を選択します。これによりファイルが同期される場所を決定します。
2. コントローラで AccessSync サービスを開始します。

The AccessSync サービスは、表の形式でファイル転送進捗状況を表示します。詳細は下の表の通りです。

コラム	説明
フォルダ名	<p>コントローラにあるフォルダ名を Trimble Connected Community と同期することもできます。</p> <p>以下の名前が表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> - <ユーザ名> - システムファイル - ユーザ名フォルダを含むプロジェクトフォルダ

	フォルダ名の左側にあるチェックボックスは、フォルダの同期状況を示します。より詳しい情報は、以下の表手順 5 をご参照ください。
状況	<p>ファイル転送処理の追加情報を表示します。</p> <p>以下のいずれかのステータスが表示されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 「アイドル」は、転送するファイルがないか、フォルダが同期用に選択されていないことを示します。 - 「x / y」は、y個のファイル中、x個のファイルが転送されたことを示します。 <p>ステータスをタップして転送されている個別ファイルの一覧を表示します。上下矢印は、ファイルが送信されるか受信されるかを示します。上向きの矢印は、ファイルが Trimble Connected Community に送信される必要があることを示し、下向きの矢印は Trimble Connected Community からダウンロードする必要があることを示します。</p> <p>優先覧をタップして、送受信するファイルを選択し、送受信の優先順位を決めます。または、全てのファイル優先順位を変更することもできます。</p>
TCC サイト	Trimble Connected Community サイトのファイル送信先と送信元。

さらに、現在の転送状況を示すために、表内の列ごとに色が変わります:

- 緑は、フォルダが同期され、ほかの変更など転送するものないことを示します。
 - 赤は、1つ以上のファイルの転送に問題があることを示します。
3. 必要に応じてフォルダごとにチェックボックスを設定します。送信されるファイルがフォルダ内にある場合はそのフォルダはフォルダリストに表示されますが、それ以外はユーザ名フォルダに送信されます。それぞれのチェックボックスには、3つの状況が考えられます:

状況	同期作業
<input checked="" type="checkbox"/>	フォルダにあるファイルは、現在の Trimble Connected Community サイトと同期されます。 これらのファイルの同期を中断するには、このチェックボックスをタップします。
<input type="checkbox"/>	フォルダにあるファイルは現在の Trimble Connected Community サイトに 同期されません 。 このファイルの転送を開始するには、このチェックボックスをタップします。
<input checked="" type="checkbox"/>	現在の Trimble Connected Community サイトに割り当てられていないため、フォルダにあるファイルは 同期されません 。 現在の Trimble Connected Community サイトにファイルを割り当てるには、このチェックボックスをタップします。

4. サイトにあるファイルがアップロードされたり、更新されたりした時には、Trimble Connected Community を設定して他のユーザーへ電子メールすることができます。

タスクバーの [情報警告](#) が新しいファイルがコントローラに転送されたことを表示します。

メモ

- 一度設定されると、AccessSync サービスは、コントローラにある選択されたプロジェクトフォルダのファイルを現在の Trimble Connected Community サイトと 30 秒毎に比較します。もしコントローラにあるファイルがサイトになかったり、ファイルが異なったりした場合は、コントローラから変更がアップロードされます。
- 初期設定では、コントローラ上にすでに同じ名前のファイルがある場合は、新しいファイルの方の名前の最後に「(1)」が付与され、変更が上書きされないようにします。コントローラ上でファイル名が重複した場合の制御方法を変更するにはファイル同期オプションファイルを作成します。さらに詳しい情報は、[コントローラに重複するファイル名があった場合の動作の制御](#) をご参照ください。
- 選択されたシステムとプロジェクトフォルダに含まれるファイルのすべてが現在の Trimble Connected Community サイトからコントローラに転送されます。
- インターネットに接続されていない場合は、接続された時に転送されます。
- インターネット接続によりGPS補正情報を受信している場合、GPS補正情報はファイルのアップロードより優先されます。

t ファイル変換

ファイル変換の概要

Trimble Access ソフトウェアパッケージ内で古いジョブ (*.job) および測量スタイル (*.sty) ファイルを変換する方法は 3 通りあります:

- 自動ファイル変換
- 手動ファイル変換
- アップグレード中のファイル変換

自動ファイル変換

オフィスから現場のコントローラへ AccessSync サービスを利用してファイルを送送する場合、ファイルのタイプによってはコントローラに必要なバージョンに自動変換されるものがあります。このサービスを利用するには有効な AccessSync ライセンスが必要です。

自動ファイル変換はいわば「舞台裏」で行なわれます。このサービスを活用するには、変換が必要なファイルを Trimble Connected Community プロジェクトサイト内の適切なフォルダにコピーし、AccessSync サービスを使用して現場に送信するだけです。

転送中に自動変換されるのは以下のタイプのファイルです:

ファイルのタイプ	ファイル拡張子	変換前のバージョン
Trimble Access ジョブファイルで次のアプリケーションが使用するファイル: - 一般測量 - 道路 - トンネル	*.job	Trimble Access システムのバージョン 1.0.0 以降

- 採掘鉋		
Trimble Access テンプレートファイル	*.jot	Trimble Access システムバージョン 1.5.0 以降
Trimble Access 測量スタイルファイル	*.sty	Trimble Access システムのバージョン 1.0.0 以降
Trimble Survey Controller のジョブファイル	*.job	Trimble Survey Controller ソフトウェアのバージョン 11.00 以降
Trimble Survey Controller の測量スタイルファイル	*.sty	Trimble Survey Controller ソフトウェアのバージョン 11.00 以降

コントローラが対応していないバージョンが送られたり、ファイル変換ができなかったり(ジョブファイルが破損していた場合など)すると、元のファイルがそのまま送られます。変換されていないジョブを開こうとすると、そのバージョンには対応していないというエラーメッセージが表示されます。

メモ

- ファイルは、現場のコントローラに Trimble Access システムのバージョン 1.4.0 以降が搭載されている場合にのみ変換されます。
- ファイルは、Trimble Connected Community の *現場* フォルダかサブフォルダ、または *全てのユーザ* フォルダかサブフォルダに保存されている場合に変換されます。

手動ファイル変換

手動ファイル変換は無償で利用できるサービスで、Trimble Connected Community 内にあります。ジョブまたは測量スタイルファイルを Trimble がホストするサーバにアップロードし、変換後のバージョンを選び、ローカル PC に保存するか、または Trimble Connected Community 団体に直接保存して現場に送信します。新しいバージョンに変更可能なファイルタイプは下表の通りです。しかしこのサービスを利用してジョブを古いバージョンに戻すことはできません。

ファイルのタイプ	ファイル拡張子	変換前のバージョン
Trimble Access ジョブファイルで次のアプリケーションが使用するファイル: - 一般測量 - 道路 - トンネル - 採掘鉋	*.job	Trimble Access システムのバージョン 1.0.0 以降
Trimble Access テンプレートファイル	*.jot	Trimble Access システム、バージョン 1.5.0 以降
Trimble Access 測量スタイルファイル	*.sty	Trimble Access システムのバージョン 1.0.0 以降
Trimble Survey Controller のジョブファイル	*.job	Trimble Survey Controller ソフトウェアのバージョン 11.00 以降
Trimble Survey Controller の測量スタイルファイル	*.sty	Trimble Survey Controller ソフトウェアの


手動ファイル変換

手動ファイル変換サービスを利用するには:


1. 手動「ファイル変換」サービスに移動します:
 - <http://my.trimbleaccess.com> へブラウザし、「Survey Tools (測量ツール)」エリアまでナビゲートします。Trimble Connected Community 団体がなくてもこのエリアにアクセスすることができます。Trimble Connected Community 団体があると、追加ツールにアクセスすることができます。
 - Trimble Business Center 内から:

1. 「ファイル(File)」までナビゲートして、「Trimble Access Services」をクリックします。
2. タイトルバーにある「サインイン」をクリックして、サイト管理者から割り当てられた認証情報を入力してください。



3.  をクリックします。

メモ – Trimble Business Center 内で、Trimble Access Services の認証情報を定義することができるため、サインインするたびに入力する必要がなくなります。更に詳しい情報は、[「Trimble Business Center を介してサービスにアクセス \(Accessing Services via Trimble Business Center\)」](#)をご参照下さい。

2. 「Select files (ファイルの選択)」をクリックします。そのファイルのあるフォルダまで移動し、ファイルを選んだら「開く」をクリックします。一度に選択できるのはジョブファイルかまたは測量スタイルファイルのどちらかです。両方一度には選択できません。変換するファイルをすべてリストに追加したら「Next(次へ)」をクリックします。
3. 変換後のバージョンを選びます。リストに含まれるバージョンの中で最も新しいバージョンよりも新しいバージョンだけが表示されます。リストに複数のファイルが含まれていても、変換後のバージョンは 1 つしか選べません。「Next」をクリックします。ファイルは Trimble がホストするサーバにアップロードされ、選ばれたバージョンに変換されます。
4. 変換の結果が表示されます。変換されたファイルはハイパーリンク付きで一覧表示されます。
 - ファイルをローカル PC に保存するには、各リンクをクリックし、保存先を選択します。
 - Trimble Connected Community 団体にログインしている場合は、ファイルを Trimble Connected Community 内の Trimble Access プロジェクトサイトに保存することもできます:
 - a. 「Save to my Trimble Connected Community file space (私の Trimble Connected Community ファイルスペースに保存)」を選択し、「Next」をクリックする。
 - b. アクセス権のある Trimble Access プロジェクトサイトが一覧表示されます。その中からファイルの保存先を選びます。
 - c. ファイルの保存先のフォルダを選びます。AccessSync を介して現場のユーザにファイルを送信するには、 をクリックしてユーザ名フォルダを拡大し、「To The

Field(現場へ)」フォルダを選びます。プロジェクトに関係のあるすべてのユーザーにファイルを送信するには、「To All Users(全てのユーザー)」フォルダを選び、「Next」をクリックします。

5. ファイルの保存の結果が表示されます。さらにファイルを変換するには、Finish(終了)をクリックしてウィザードの最初に戻ります。



Registered Devices (デバイス登録)

Registered Devices (デバイス登録)

Registered Devices(デバイス登録)サービスを利用すると、お手持ちのコントローラやソフトウェアのライセンスやバージョンの情報を管理することができます。


メモ - Registered Devices(デバイス登録)は、アドバンスド Trimble Access Services を購入したユーザーのみが利用できます。

Registered Devices サービスにアクセスするには:

- Trimble Connected Community 団体内:
 1. <http://my.trimbleaccess.com> へブラウザして、Survey Tools (測量ツール)エリアまでナビゲートします。
 2. 「Registered Devices(デバイス登録)」ページをクリックするか、をクリックします。
- Trimble Business Center 内から:
 1. 「File(ファイル)」、「TCC」までブラウザし、「Trimble Access Service」をクリックします。
 2. 「Sign in(サインイン)」をクリックして、登録時に取得した Sitemanager(サイト管理者)の認証情報を入力します。
 3. Survey tool(測量ツール)エリアまでナビゲートします。
 4. をクリックします。

メモ - 初期設定では、サイトマネージャだけがこのサービスにアクセスする許可を持っていますが、サイトマネージャがほかのユーザーを AllSiteManagers グループに追加すれば、ほかのユーザーもこのページにアクセスすることができます。

Registered Devices は、Trimble Connected Community 団体にリンクしている各コントローラのシリアル番号を一覧表示します。これらのコントローラには Trimble Access サービスを利用できるライセンスがあります。

各コントローラの横にある  をクリックすると、そのコントローラの最後のログインセッション情報を表示します:

- 最後のセッションの日時
- コントローラにオンラインでログインした最後のユーザ名と AccessSync を介して転送されたファイル名
- 最後のセッションで使用されたプロジェクトサイト

メモ - セッション情報は、24 日以内に行なわれたセッションのみ表示します。

「Applications (アプリケーション)」の横の ▶ をクリックすると、ソフトウェア、およびライセンス情報の詳細を表示します:

- コントローラがライセンスを持つすべてのソフトウェアオプション
- 各ソフトウェアオプションのライセンスタイプ、アクティベーションの日付、期限
- コントローラがライセンスを持つ各ソフトウェアオプションにインストールされているソフトウェアバージョン
- 各ソフトウェアオプションに対して利用可能な最新バージョン

メモ - 「Expand All (すべて拡大)」または「Minimize All (すべて最小化)」をクリックしてすべてのコントローラの情報を表示、または非表示にします。

コントローラとソフトウェアオプションのリストは色分けされて表示されますので、お手持ちのコントローラの状態が一目でわかります。色分けの仕方は下表の通りです:

色	シリアル番号の場合	ソフトウェアオプションの場合
赤	このコントローラの 1 つまたは複数のライセンスが期限切れです。	このソフトウェアオプションのライセンスは期限切れです。
緑	X 日以内にこのコントローラの 1 つまたは複数のライセンスが期限切れになります。	X 日以内にこのソフトウェアオプションのライセンスが期限切れになります。
青	このコントローラの 1 つまたは複数のソフトウェアオプションの更新が利用できます。	このソフトウェアオプションが利用できる更新が 1 つあります。
黒	このコントローラには期限切れのライセンスはありません。またこのコントローラのソフトウェアのオプションはすべて最新バージョンがインストールされています。	このコントローラには最新バージョンがインストールされています。またライセンスも現在有効です。

並べ替え、選別、検索

コントローラの管理をやすくするため、コントローラのシリアル番号のリスト表示は並べ替えたり選別したりすることができ、特定のコントローラを簡単に探すことができます。

コントローラのリストを並べ替えるには、ページ右上の「Sort by (並べ替え)」ドロップダウンボックスから 1 つの方法選びます。コントローラのリストの並べ替えは:

- 有効期限日: 有効期限が最も早くするコントローラから順番に並びます。複数のソフトウェアオプションがインストールされているコントローラでは、最も早い有効期限日を使用されます。
- シリアル番号: アルファベット順または数字の順番に並びます。

- コントローラのタイプ: ハードウェアのタイプによってコントローラをグループ分けします。ハードウェアタイプはシリアル番号の左側のアイコンで表示されます。

コントローラのリストを選別するには、ページ右上にある「Filter(選別)」ドロップダウンボックスから方法を1つ選びます。コントローラのリストは以下の条件によって選別できます:

- 利用できる更新があるもの
- 1つまたは複数のライセンスがすでに期限切れになっているもの
- 30日以内に1つまたは複数のライセンスが期限切れになるもの。このリストにはすでに期限切れとなったライセンスがあるコントローラも含まれます。
- 60日以内に1つまたは複数のライセンスが期限切れになるもの。このリストにはすでに期限切れとなったライセンスがあるコントローラも含まれます。
- 90日以内に1つまたは複数のライセンスが期限切れになるもの。このリストにはすでに期限切れとなったライセンスがあるコントローラも含まれます。

各シリアル番号の詳細を表示するには、ページ右上の検索フィールドにシリアル番号を入力します。

デバイス情報のレポート

デバイス情報を印刷することができます。印刷するには:

1. 必要に応じてコントローラを並べ替えまたは選別し、「Create Report...(レポートの作成)」をクリックします
2. 「Generate Report for All Items(全ての項目についてのレポートを生成)」または「Generate Report for Expanded Items(拡大表示した項目についてのレポートを生成)」のいずれかを選び、「Preview(プレビュー)」または「Print(印刷)」をクリックします。

GNSS Forecast

GNSS Forecast

GNSS Forecast サービスで利用可能な衛星を計算する

GNSS 予想サービスは、特定の場所において衛星の可用性と電離層の状態を元に、GNSS測定の適合性を予測するために使われるプランツールです。

このサービスでは、ユーザ様が選択した衛生システムにおける衛星の可用性情報を提供します。

サービスの利用するために:

1. コントローラで、Trimble Access インターネット設定アプリケーションを使用して [インターネット接続の設定を行います。](#)
2. Trimble Access メニューから、GNSS 予想アプリケーションを起動します。
3. 「設定」をタップします。
4. 必要な詳細設定を行います:
 - 日付と時間を入力します。
 - 現在位置の緯度と経度を入力します。

ヒント – GNSS 受信機から得られた現在の単独測位位置を使用して、緯度および経度フィールドを自動的に入力するには **ここへ** をタップします。

- 予測データの間隔(時間)を選択します。
 - 高度をカットオフと入力します。
5. 「次へ」をタップします。
 6. 捕捉しようとしている衛星(複数可)を選択します。
 7. 「終了」をタップします。

GNSS 予想サービスは Trimble がホストするサーバーに接続して情報を計算します。間隔毎の衛星数と電離層状態が割り出されます。測量に使用するにあたっての衛星の適合状態の概要を表示します。



「GNSS 予想」ステータスバーは、データ状態と利用可能なインターネット接続を表示します。

メモ – Trimble の GNSS 機器の性能は、電離層の状態によって異なります。太陽の爆発により、地球の電離層の状態は変化します。電離層の活動が活発だと、Trimble の GNSS 解の収束に時間がかかり、極端なケースですと位置を計算できない場合もあります。電離層指標は 1 から 10 まであります。この数値が高いほど、GNSS 測定が影響を受ける可能性が高くなります。GNSS 予想サービスを利用すると、その数値を解釈することができます。高すぎる場合には、十分な数の衛星が観測できても、黄色か赤いアイコンが表示されます。